

# 独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1 TEL：0859-33-8181 FAX：0859-22-9651

## 医学生に向けて

当院は全科揃っていることもあり、救急で必要な知識・基本的手技を身につけることはもちろん急性期から慢性期疾患まで幅広い症例をたくさん経験することができます。日当直も自分のペースで組むことができ、自由度が大きい研修プログラムが自慢です。

## 病院の 特徴

当院は、地域の医療・介護・福祉施設と連携し地域医療を支援する、24診療科を持つ総合病院です。鳥取県西部の中核を担う二次救急病院であり、時間外救急外来患者数は年間約4,200例、疾患別には脳卒中、急性心筋梗塞（平日日中のみ）など、鳥取県西部の他の二次救急病院では受け入れ困難な症例をも受け入れており、地域医療に大きく貢献しています。その他、当院は勤労者医療を担い、働く人の健康維持と治療と就労の両立支援を実施しています。研修においては、消化器、腎代謝、呼吸器、循環器、中枢神経、骨関節、脳卒中、心筋梗塞、がん、小児・周産期医療等に対し豊富な診療科のもと、垣根のない指導医による充実した研修が可能な臨床研修病院です。

- ▶ 開設年／昭和38年
- ▶ 病床数／363床
- ▶ 標榜科／24科

内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器・感染症内科、腎臓内科、精神科（心療科）、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

- ▶ 医師数／73人（令和6年4月1日現在）
- ▶ 指導医数／52人（令和6年4月1日現在）
- ▶ 外来患者数／1日平均564.3人（令和5年度）
- ▶ 入院患者数／1日平均285.3人（令和5年度）



## voice

### 指導医

みずた えいのすけ  
水田 栄之助



当院は鳥取県西部を代表する二次救急病院ということもあり、重篤な疾患や合併症に対する実践的な研修を受けることができます。また大学病院のすぐ近くにあることから、希望者は大学病院での専門的な研修を受けることができます。当院ではこれから急増する高齢者の救急症例を数多く経験できます。「病気を診ずして病院を診よ」の言葉とおり、ぜひ当院で総合的に診るトレーニングをして頂きたいと思います。

当院は鳥取県西部を代表する二次救急病院ということもあり、重篤な疾患や合併症に対する実践的な研修を受けることができます。また大学病院のすぐ近くにあることから、希望者は大学病院での専門的な研修を受けることができます。当院ではこれから急増する高齢者の救急症例を数多く経験できます。「病気を診ずして病院を診よ」の言葉とおり、ぜひ当院で総合的に診るトレーニングをして頂きたいと思います。

### 研修医

おおが しゅんすけ  
大賀 俊典



当院の初期研修の強みは、自由選択期間が約1年と長いことと、希望に合わせて研修内容を柔軟に調整して貰えることです。

現時点で志望科が決まっていない方は、自分の興味に合わせて様々な診療科を経験し、進路を吟味することができます。すでにある程度志望科が決まっている方は、好きなだけ志望科や関連する診療科をローテートし、3年目に備えて学びを深めることも可能です。

それぞれの研修医の「何を学びたいか」に合わせて研修内容を調整して頂けるので、どんな医師像を目指している方であっても、有意義な研修ができると思います。



## 初期臨床研修プログラム

### 目 標 >

医師としての基盤形成の段階にある研修医において、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力の修得。

### 特 徴 >

研修医は臨床研修センターに所属し、本院を「基幹型病院」そして教育関連病院を「協力型病院」並びに「臨床研修協力施設」とする臨床研修病院群を形成した中で研修を行います。研修は、ローテート研修を基本原則とし、内科研修については、各内科診療科の複数科での研修を行い、外科研修についても、一般外科のみならず、整形外科、脳神経外科などの知識の習得も可能となっています。また、医師臨床研修の大きな目標であるcommon diseaseを経験してトリアージができるよう当院では救急部門の研修を重視しており、日勤帯にも多種多様な二次救急患者が多く訪れるという当院の特徴を生かし、2年間を通して土日、祝日の日勤帯のみをdutyとした救急外来研修を行います。これにより、夜間の当直を気にせず、夕方からは自分の勉強時間を取ることが可能となります。指導医と各科バックアップ体制のもとに、軽症からACLSへの対応まで、幅広い研修を効率的に行うことができます。2年目は研修医の希望による選択科目を最大52.8週設定でき、関連5病院において自由に設定することも可能です。最後に「まとめ期間」を設定しており、経験目標が達成されていない項目があればこの期間に補うことができます。その他、症例報告などの学会報告を奨励しており、指導医や専門医がその指導に当たります。また、ポートフォリオによる評価法を取り入れ、月毎に形成的評価やメンタルサポートができるよう配慮しています。



### 年間研修計画 >

一年次	プレローテーション 救急麻酔 (4.4週)	内科(26.4週) (消化器、循環器内科、呼吸器・感染症、 腎臓、糖代謝、脳神経内科)	外科 (4.4週)	小児科 (4.4週)	産婦人科 (4.4週)	精神科 (4.4週)	選択 (4.4週)	
		救 急 部 門						
二年次	地域医療 (4.4週)	選 択 (まとめ期間含め48.4週)					まとめ期間	
		救 急 部 門						

※1年次スタート時にプレローテーション(1週間)を行います。

### 日当直回数 >

1~2回/月程度

担当医師等：日直医/2名(内科、外科系)、宿直医/1名(内科又は外科系)、看護師2名、臨床検査技師1名、放射線技師1名等、研修医/1名(指導医のもとで日直のみ。全診療科オンコール体制)

当直時間：土日、祝日の日勤帯 8時15分~17時

翌日勤務：当直後、休養のための休暇の取得可



## \ 待 遇 /

## \ 募 集 要 項 /

- ▶ 給与等 / 1年次 月額(税込)353,100円  
(賞与、各手当を含む見込額：年収約570万円)  
2年次 月額(税込)420,100円  
(賞与、各手当を含む見込額：年収約660万円)
- ▶ 賞 与 / 年額(税込)約170,000円
- ▶ 手 当 / 通勤手当、超過勤務手当、当直手当、アパート等賃貸への補助有、学会参加等の補助有
- ▶ 休 暇 / 週休2日制、有給休暇(半年後年10日)、夏季休暇(年5日)
- ▶ 宿 舎 / 有(徒歩5分、月額負担4,400円)
- ▶ 保 険 / 健康保険、厚生保険、雇用保険、労災保険、医師賠償保険で病院加入

- ▶ 採用予定人数 / 6人
- ▶ 応募資格 / 令和7年医師国家試験受験予定者及び令和6年医師国家試験合格者
- ▶ 試験日等 / 令和6年8月19日~9月初旬(面接希望日に沿って調整いたします)
- ▶ 申込締切 / 令和6年8月9日
- ▶ 応募連絡先 / 山陰労災病院 医師臨床研修センター  
〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1  
担当 / 医師臨床研修センター事務担当  
TEL / 0859-33-8181 FAX / 0859-22-9651  
E-mail : soumu1@saninh.johas.go.jp  
※応募書類は、病院に直接持参又は簡易書留にて郵送願います。